

## 前橋市におけるスマートシティに向けた取り組み

デジタル等の最先端技術を活用して、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により地域の抱える諸課題の解決を図り、新たな価値を創造して持続可能な都市を目指すスマートシティについて、本市は、今までの官民共創のまちづくりをベースに、10年後の未来都市を先行実現するスーパーシティやその他の取組等により、「街や人を幸せにする」「多様性と寛容性で健康で幸せな生活を実現する」街のDX（デジタルトランスフォーメーション）を「前橋市におけるスマートシティ」として取り組んでまいりました。3月4日の「スーパーシティ選定」の公表を踏まえ、デジタル田園都市国家構想対応を中心に、さらに本市のスマートシティの取組を進めることについて、ご説明いたします。

### 1 コンセプト

「前橋めぶくグラウンド構想」として、「スーパーシティ×スローシティ」をコンセプトに、前橋市が構築する統合ID（まえばしID）等のデジタル最新技術と多様性（スローシティ）により、多様な人がつながりながら、一生学び、新たな価値がめぶく街を目指しています。

### 2 スマートシティ推進（街のDX推進）の方針

#### ① 「誰一人取り残されない」「個別最適化」したサービス

利便性や効率で個人がルールや技術に縛られるのではなく、統合ID等のデジタル最先端技術等により、個人に寄り添った「個別最適化」かつ「誰も取り残されない」サービスを実装する

#### ② 「安全安心が大前提・最優先」

電子署名法の法的根拠のあるスマホに搭載される統合IDや個人情報を守るリスク分析・管理と補償の「セキュリティ保険」や分散型データ管理や最先端の技術による“具体的なアプローチ”による本市ならではの安全安心を構築

#### ③ 「みんなのアイデアを官民一体で推進」

本市の官民共創のまちづくりや175事業者参画そして自治体連携のデジタル&ファイナンス未来型政策協議会をベースに、来年度発足する予定の（仮）前橋めぶくグラウンド等により官民の幅広いサービスを官民一体で実装する

### 3 具体的な取り組み

\*スーパーシティ申請（4月提案、10月再提案）

\*令和3年度スマートシティ関連事業補助採択<全国最多3事業採択>

・統合ID（まえばしID）の構築及び地域金融再興モデル構築

・前橋版Ma a S社会実装

・官民ビックデータを活用したEBPM推進

\*先端的サービス公募対応（交通テック事業）

\*デジタル&ファイナンス未来型政策協議会（2月1日総会、25市参画）

\*デジタル田園都市国家構想対応

・2月24日第4回デジタル田園都市国家構想実現会議参画（デジタル基盤整備）

#### 4 スーパーシティ選定（3月4日発表）

- \*つくば市、大阪市のスーパーシティ選定。
- \*吉備中央町、茅野市、加賀市がデジタル田園健康特区。
- \*規制所管官庁との合意項目が複数あること等の「熟度」が高い自治体を選定。
- \*今回指定から漏れても落選でなく提案の熟度が高まり次第指定することのこと。

#### 5 今後の取組

\*デジタル田園都市国家構想推進交付金のType 3申請対応を中心に、今までの175事業者の220の提案やスーパーシティ申請の14サービス等の今までの検討、そして今後の新たな検討等をベースに、真の地域の課題解決を目的とした「官民のビックデータ×まえばしIDを含む最先端デジタル技術×大学等の知見×楽しさ（伝わりやすさ）」による、官民一体のサービスを実装します。

<交通テック><健康テック><学育テック>……

\*例えば、交通テックは、交通事故を科学して高齢者を中心とした交通事故を削減するために、民間保険会社の急ブレーキや急ハンドル等のビックデータを、最先端の8Kカメラによる3Dマップや最先端シミュレータによる最先端デジタル技術のゲームのような仮想運転環境において、エビデンスとしての運転者の脳波、眼球電位、心拍数等のデータを「ジンズミーム」等で測定し、脳波研究等の知見がある大学（前橋工科大）が分析して、前例や踏襲でない科学的根拠による、道路や周辺環境の整備を行うことや高齢者の免許更新等のあり方の検討、人を視点とした自動運転の検討などさまざまな対応を実施します。

<3月14日12時市役所1階ロビーにて関係者により取組発表>

担 当 未来政策課

電 話 027-898-6427（直通）